

シャンパーニュ メゾン「ルイナール」：訃報

メゾン ルイナールの最高醸造責任者 フレデリック・パナイオティスが 2025 年 6 月 15 日（日）急逝

MHD モエ ヘネシー ディアジオ株式会社（東京都千代田区神田神保町）が取扱うシャンパーニュ メゾン ルイナールの最高醸造責任者 フレデリック・パナイオティスが 2025 年 6 月 15 日（日）に 60 歳で急逝いたしましたことを謹んでご通知申し上げます。

フレデリック・パナイオティスのシャンパーニュにおける哲学、メゾン ルイナールへの思い、そして日本への想いはとても深く格別なものでした。以下メゾン ルイナールより発表されたコメント全文となります。

フレデリック・パナイオティスはシャンパーニュとワインの世界において重要な人物であり、尊敬される同僚であり、親愛なる友人でした。彼の早すぎる死は、私たちに深い悲しみをもたらしています。

フレデリックの情熱、ビジョン、高い基準、そして卓越性への揺るぎないコミットメントは、メゾン ルイナールに永続的な足跡を残しました。卓越したワイン醸造家であり、偉大な温かさと配慮の人であった彼は、エレガンスと謙虚さをもってシャンパーニュの精神を世界中で体現していました。

この困難な時期に、私たちの思いはご家族、愛する人々、そして親しい同僚の皆様と共にあります。

「フレデリック・パナイオティスは、真にユニークな人格の持ち主でした。合理的でありながら、同時に非常に繊細でもありました。情熱的で、好奇心旺盛で、献身的で、科学と知識の人であり、計り知れない謙虚さに導かれていました。彼はルイナールの価値観を体現していました。彼のユニークなビジョンは、今後数十年にわたり私たちのメゾンを形作り続けるでしょう」

— フレデリック・デュフォー、メゾン ルイナール社長

1964 年生まれのパナイオティスは、幼少期の多くをシャンパーニュにある祖父母のブドウ畑で過ごしました。彼は祖父母と一緒にシャルドネのブドウを収穫するのが大好きで、ブドウ畑での幼い頃の経験を通して、ワインの世界を初めて知りました。その後、パリ・グリニョン国立農業研究所でブドウ栽培とワイン醸造学を学びました。さらに 1988 年にはモンペリエ国立高等農業学校からワイン醸造学の国家資格を取得しました。彼の初期のキャリアはフランスとカリフォルニアを行き来し、1991 年にシャンパーニュに戻り、シャンパーニュ地方ワイン生産同業委員会に参加しました。その後、ヴーヴ・クリコ社に勤務し、2007 年にルイナールに最高醸造責任者として入社しました。

過去 18 年間、フレデリックは思慮深く革新的なアプローチを通じてルイナールを形作って来ました。シャルドネは彼の仕事を通じて共通のテーマであり、彼はこのブドウを探求し、常にそのエレガンスと新鮮さを明快さと抑制をもって表現しようと努めました。フレデリックは、ノンヴィンテージからプレステージ シャンパーニュのドン・ルイナールとドン・ルイナール ロゼまで、すべてのキュヴェのブレンドを手がけました。

フレデリックはまた、サステナビリティへの取り組みの一貫した提唱者でもありました。彼は、セカンドスキンの導入、ブドウ畑での樹木栽培の採用、ドン・ルイナールのコルク熟成への回帰、4 RUE DES CRAYERES での歴史的なワイン貯蔵庫の設置、そしてシャルドネの解釈を通して変化する気候を反映するように考案されたキュヴェ、ルイナール ブラン・サンギュリエの発売など、いくつかの重要な開発において中心的な役割を果たしました。

科学的な精度と、自然と人々両方への深い敬意をもって、彼の仕事はルイナールに有意義な足跡を残しました。それは私たちを導き続けるでしょう。
